

令和7年度

# 定期総会資料

高山本線強化促進同盟会

# 次 第

## 1 議 事

議案第1号 令和6年度事業報告について

議案第2号 令和6年度収支決算について

議案第3号 令和7年度事業計画（案）について

議案第4号 令和7年度収支予算（案）について

## 2 決 議

決議（案）について

## 令和6年度事業報告書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

年 月 日	事 業 内 容
R 6. 6. 30 (日) R 6. 7. 4 (木) R 6. 11. 17 (日) R 6. 11. 19 (火)	特急「ひだ」利用実態調査の実施
R 6. 8. 29 (木)	幹事会を開催し、定期総会議決書、事業計画、要望活動について審議、役員の変更について報告（書面決議）
R 6. 9. 13 (金)	定期総会を開催し、令和5年度事業報告及び同収支決算並びに令和6年度事業計画(案)及び同収支予算(案)を審議決定（書面決議）
	<p>〔決議〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 北陸新幹線との相乗効果やリニア中央新幹線の開業を視野に入れ、所要時間の短縮や列車本数の増加など、旅客輸送サービスの強化改善を推進すること。</li> <li>2 輸送の安全、防災対策を充実させるため、あらゆる角度から強化改善を検討し、事故防止に努めること。</li> <li>3 安全で快適に利用できるようにするため、駅施設における利用者の利便性の向上・確保に取り組むとともに、鉄道施設や車両等の改善を推進すること。</li> </ol>
R 6. 10. 25 (金)	高山本線全線開通90周年記念事業として「全線開通90周年記念高山本線フォトキャンペーン」を開催
R 6. 12. 24 (火)	※実施期間中、90名から227枚の投稿があった。
R 7. 1. 27 (月)	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社（金沢市）に対し要望を実施
R 7. 2. 12 (水)	東海旅客鉄道株式会社（名古屋市）に対し要望を実施
R 6. 4. 1 (月)	広報・啓発事業の実施
R 7. 3. 31 (月)	高山本線全線開通90周年記念オリジナルマグネットを2,000個作成した。

## 令和6年度決算書

自 令和 6年4月 1日

至 令和 7年3月31日

## 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差引増減 (△)額	摘要
1 負担金	362,000	362,000	0	18 団体
2 特別負担金	600,000	600,000	0	富山県・岐阜県
3 繰入金	1,000,000	1,000,000	0	90周年記念事業積立
4 繰越金	1,463,941	1,463,941	0	前年度繰越金
5 雑入	59	980	921	預金利息
計	3,426,000	3,426,921	921	

## 支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差引増減 (△)額	摘要
1 会議費	150,000	12,704	△137,296	総会、幹事会経費等
2 事業費	3,106,000	2,143,135	△962,865	利用実態調査経費及び 90周年記念事業経費等
3 事務費	50,000	17,406	△32,594	監査、負担金請求経費等
4 負担金	10,000	10,000	0	全国鉄道整備促進協議会負担金
5 積立金	100,000	100,000	0	90周年記念事業積立
6 予備費	10,000	0	△10,000	
計	3,426,000	2,283,245	△1,142,755	

## 90周年記念事業の部

(単位：円)

前年度までの積立額 (a)	6年度積立額 (b)	6年度取崩額 (c)	6年度末残高 (a)+(b)-(c)
900,000	100,000	1,000,000	0

収入合計 3,426,921円

支出合計 2,283,245円

差引残高 1,143,676円 (令和7年度～繰越)

## 監査報告書

高山本線強化促進同盟会会則第7条第5項の規定により、令和6年度決算について、監査を実施し、証拠書類、帳簿などを精査したところ、適正に執行されていたことを認めます。

令和7年6月2日

監事 下呂商工会会長

中川 正之 

令和7年5月19日

監事 富山市八尾山田商工会会長

鈴木 聡

高山本線強化促進同盟会

会長 富山県知事 新田 八朗 殿

## 令和7年度事業計画（案）

## 1 基本方針

設立趣旨や決議の内容を踏まえ、本同盟会は一致協力し、より一層の安全対策、安全運行の確保はもとより、交流人口の拡大と広域観光の推進を図るため、特急「ひだ」の増発・増車をはじめ、高山本線の一層の利便性の向上に向けた取り組みを展開する。

## 2 活動項目

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

年 月	事 業 内 容
R 7. 6 R 7. 11	特急「ひだ」利用実態調査の実施
R 7. 10～12	高山本線の利用増に向けた広報・啓発活動（「高山本線フォトキャンペーン（仮称）」を開催）
R 8. 1～2	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社（金沢市）及び東海旅客鉄道株式会社（名古屋市）に対し要望を実施
通年	全国鉄道整備促進協議会等の関係機関との連携及び情報収集活動
通年	その他本同盟会の目的達成に必要な事項

## 令和7年度収支予算（案）

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

## 収入の部

(単位：円)

科 目	令和7年度 予 算 額	令和6年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 負担金	362,000	362,000	0	18 団体
2 特別負担金	600,000	600,000	0	岐阜県・富山県
3 繰入金	0	1,000,000	△1,000,000	90周年記念事業積立金
4 繰越金	1,143,676	1,463,941	△320,265	前年度繰越金
5 雑入	355	59	296	預金利息
計	2,106,031	3,426,000	△1,319,969	

## 支出の部

(単位：円)

科 目	令和7年度 予 算 額	令和6年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 会議費	150,000	150,000	0	総会、幹事会経費等
2 事業費	1,786,031	3,106,000	△1,319,969	利用実態調査経費及び 広報・啓発事業経費等
3 事務費	50,000	50,000	0	監査、負担金請求経費等
4 負担金	10,000	10,000	0	全国鉄道整備促進協議会負担金
5 積立金	100,000	100,000	0	R6：90周年記念事業積立金 R7：100周年記念事業積立金
6 予備費	10,000	10,000	0	
計	2,106,031	3,426,000	△1,319,969	

## 100周年記念事業の部

(単位：円)

前年度までの積立額 (a)	7年度積立額 (b)	7年度末残高 (a)+(b)
0	100,000	100,000

## 令和7年度負担金内訳

(単位：円)

団体名	負担金額	団体名	負担金額
愛知県	28,000	七宗町	6,000
岐阜県	57,000	白川町	6,000
岐阜市	28,000	飛騨市	28,000
高山市	28,000	岐阜商工会議所	6,000
美濃加茂市	16,000	高山商工会議所	6,000
各務原市	16,000	下呂温泉観光協会	6,000
下呂市	28,000	富山県	57,000
坂祝町	6,000	富山市	28,000
川辺町	6,000	富山商工会議所	6,000
		合計	362,000

団体名	特別負担金額
富山県	300,000
岐阜県	300,000
計	600,000

## 決 議 (案)

高山本線は、我が国のほぼ中央部において日本海側と太平洋側とを結ぶ交通の大動脈としての役割を担い、沿線各地はもとより、中部圏全体の交通の活性化、経済・文化の発展、向上に寄与してきた欠くことのできない基幹鉄道となっており、令和6年10月には全線開通90周年を迎えた。

平成27年3月の北陸新幹線の長野一金沢間開業、さらに、令和6年3月の敦賀までの延伸により首都圏や関西圏と北陸との時間距離が飛躍的に短縮されたことに加え、将来的には大阪までの全線開業や、リニア中央新幹線の東京一名古屋間の開業が予定されており、今後も地域間の交流・連携が一層図られるものと期待される。

高山本線は沿線に多くの観光地を有し、車窓風景も美しい「観光路線」であり、政府が訪日外国人旅行者数を令和12年に6000万人とする目標を掲げ、令和6年の訪日客数、消費額も過去最高となる中、インバウンドを含む旅行需要を確実に取り込むため、その重要性はますます高まっている。

このような中、JR東海及びJR西日本においては、今後も、より一層の安全対策、安全運行を確保されることはもとより、北陸新幹線の全線開業やリニア中央新幹線開業を契機とした新たな交流人口の拡大と広域観光の推進を図るため、高山本線の一層の利便性の向上に努められることが強く望まれるところである。

よって、我々は、高山本線の強化促進に向けて、次の事項について一致協力して、強力な運動を展開するものとする。

- (1) 北陸新幹線との相乗効果やリニア中央新幹線の開業を視野に入れ、所要時間の短縮や列車本数の増加など、旅客輸送サービスの強化改善を推進すること。
  - ・ 特急「ひだ」の増発、増車
  - ・ 北陸新幹線との乗り継ぎの利便性を確保するダイヤ改正
  - ・ 北陸新幹線と特急「ひだ」の乗り換えの際の特急料金の割引を含む全線でのチケットレス乗車サービスの導入
  - ・ 普通列車の利便性向上
  - ・ 観光シーズンに併せた臨時列車の運行拡大
  - ・ 富山ー高山間における観光列車の季節運行
  - ・ 利用実態のデータ共有
  - ・ 電化及び複線化の促進
  - ・ 部分線増、一線スルー化、分岐器の改良等によるスピードアップ
  - ・ 新型特急車両（HC85系）のPR等
- (2) 輸送の安全、防災対策を充実させるため、あらゆる角度から強化改善を検討し事故防止に努めること。
  - ・ 危険箇所の保守点検や保安設備の強化等の積極的な推進
  - ・ 雪対策の強化
  - ・ 災害や事故発生時における機能的な連絡体制の構築
- (3) 安全で快適に利用できるようにするため、駅施設における利用者の利便性の向上・確保に取り組むとともに、鉄道施設や車両等の改善を推進すること。
  - ・ 鉄道施設及び車両等のバリアフリー化の推進
  - ・ 鉄道施設の改善及び周辺整備への協力

- ・観光客の増加に向けた体制づくり
- ・交通系 I Cカードの利用可能エリアの拡大やMa a Sアプリの活用によるキャッシュレス決済への対応の加速化

以上決議する。

令和7年8月29日

高山本線強化促進同盟会